

# YOKOHAMA KYU TOKAIDO WALKING MAP



東海道名所之内 鶴見 (横浜市中央図書館所蔵)

## 横浜旧東海道 みち散歩

鶴見生麦から戸塚まで  
横浜の歴史、旧東海道の  
魅力と愉しみを綴る道案内。

FREE



発行／横浜市文化観光局横浜魅力づくり室企画課 | 鶴見区・神奈川区・西区・保土ケ谷区・戸塚区区政推進課  
協力／東海道 風景街道 | 横浜ボランティアガイド協議会 | 横浜市歴史博物館 | 横浜開港資料館 | デザイン／相澤事務所 株式会社  
平成24年9月発行 平成31年1月改訂



↑ 保土ヶ谷宿 HODOGAYA



東海道五拾三次之内 保土ヶ谷新町橋  
(横浜市歴史博物館所蔵)

↑ 横浜道 保土ヶ谷道 YOKOHAMA HODOGAYA



東海道五拾三次之内 加奈川浅間下より台を見る図  
(横浜市中央図書館所蔵)

↑ 神奈川宿 KANAGAWA



東海道五拾三次之内 神奈川台之景(横浜市中央図書館所蔵)

↑ 鶴見 生麦 TSURUMI NAMAMUGI



東海道名所之内 鶴見(横浜市中央図書館所蔵)

東海道は旅の原点  
横浜の旧東海道を歩こう

慶長5(1600)年、関が原の戦いで勝利をおさめた徳川家康は、次々と新しい政策を展開しました。街道整備もその一環として進められ、慶長6(1601)年に東海道の伝馬制度が定められました。当時の江戸と京都の間には、37の宿場が置かれ、横浜には、神奈川宿、保土ヶ谷宿の2つの宿がありました。慶長9(1604)年に戸塚宿が加わり、横浜に3つの宿場が揃いました。

寛永元(1624)年には、江戸と京都の間に53の宿場が整備され、東海道五十三次となりました。東海道は、参勤交代の大名や幕府の役人、商人や伊勢神宮など社寺参詣の旅人てにぎわっていました。旅人はその道中で、名物料理を食べたり、土産を買ったり、多少寄り道をして物見遊山を楽しんでおり、今も昔も、旅の楽しみは変わっていません。現在の東海道は、国道1号などに姿を変え、今日も日本の大動脈としての役割を担っています。旧東海道沿いには、今も宿場の面影を残す建物や神社仏閣などが点在しています。江戸時代の旅に思いを馳せながら、旧東海道を歩いてみませんか？

↑ 戸塚宿 TOTSUKA



東海道五十三次之内 戸塚駅 早野勘平(横浜市中央図書館所蔵)



道中奉行所/東海道分間延絵図\_第1巻(東京国立博物館 所蔵) Image:TNM Image Archives

**Q** 旧東海道は、いつ頃できたのですか？

**A** 旧東海道は古代・中世を通じて東西交通の重要な幹線道路でした。この道が、江戸時代に至ってその交通体系が本格的に整備されたため、一般に旧東海道という場合、江戸時代の五街道の1つとしての道を指しています。慶長6(1601)年正月、幕府は東海道の各宿に対して、徳川家康の伝馬朱印状と、伊奈忠次、彦坂元正、大久保長安の連署による「御伝馬之定」を交付しました。そこで一般には、この2つの文書の交付をもって、東海道に宿駅伝馬制度が成立し、近世の東海道が成立したと理解されています。

**Q** 街道の並木は、なんのために植えられたの？

**A** 並木は、天平宝治3(759)年、東大寺の僧普照の奏上によって、駅路の両側に果樹を植えたのが始まりといわれ、江戸幕府もまた街道に並木を植えることを命じています。並木は、暑い夏には旅人に緑陰を与え、冬は吹き付ける風や雪から旅人を守ります。また風雨や日差しから道そのものを守る役目もありました。

**Q** 横浜市の旧東海道には、どんな名物があつたのですか？

**A** 鶴見では米饅頭(よねまんじゅう)、「しからき茶屋」の梅干しと梅漬けのシヨウガ。神奈川宿では、黒菜、生魚、亀甲煎餅。境木では牡丹餅が知られていました。

**Q** 宿場とは、どういうところだったのでしょうか？

**A** 宿場は宿(しゆく)、宿駅とも呼ばれ、街道の拠点となったところです。宿場には、旅人を泊めたり、休ませたりする役割がありました。最も重要な役割は、隣の宿場から運ばれてきた公用の荷物や通信物を、次の宿場まで運ぶという業務でした。

**Q** 江戸時代の旅人は、1日で何kmくらい歩いたの？

**A** 一般的に江戸から京に向かう場合、最初の宿泊地となったのが保土ヶ谷宿や戸塚宿でした。日本橋から保土ヶ谷宿まで八里九町(約33km)、戸塚宿まで十里半(約42km)なので1日の行程はおよそ八里から十里強(約32~40km)といえます。

# 横浜 旧東海道 鶴見 生麦から 戸塚まで



### 安全なウォーキングのためのヒント

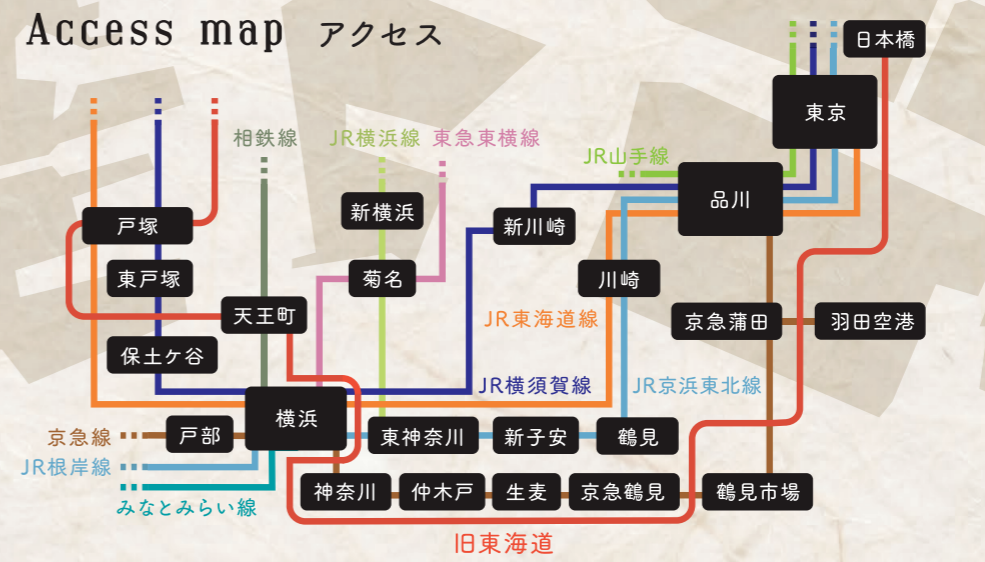
- ① 体温調整がしやすい服装にしましょう
- ② 歩きやすく、適切な靴を履きましょう  
【靴底はクッション性があり、つま先にゆとり、かかと・足の甲はぴったり】
- ③ 睡眠不足や過労など、体調がすぐれない日はやめましょう
- ④ のどが渇く前に水分補給をしましょう

Tips for Safe Walking:

- 目線はやや遠く前方を見る
- アゴをひく
- 胸をはり背筋を伸ばす
- お腹を引き締める 腰位置を高く
- 膝を伸ばす
- 歩幅は広めに

### よこはまウォーキングポイント

よこはまウォーキングポイント事業とは、18歳以上の横浜市在住・在勤・在学の方にウォーキングを通じて楽しみながら健康づくりをしていただく事業です。歩数に応じてポイントが付与され、ポイントに応じて抽選で商品券等が当たります。参加者には歩数計をプレゼント(送料負担あり)。平成30年4月からは歩数計アプリ配信がスタート!お手元のスマホにアプリをダウンロードして参加することもできます。事業所単位でもお申込みいただけますので、健康経営にもご活用いただけます。



横浜市と株式会社セブン-イレブン・ジャパン、株式会社ローソンはそれぞれ「地域活性化包括連携協定」を締結しており、トイレ利用でご協力いただいている店舗もあります。ウォーキング中の休憩などの際にお立ち寄りください。

# 横浜旧東海道の歳時記

イベントの詳しい情報は下記の行事・イベント紹介でご確認ください。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1月上旬 鶴見七福神めぐり	●2月 節分		●4月29日 田祭り		6月上旬 浅間神社 例大祭	●7月14日 お札まき	8月19日～20日 杉山神社例祭		●10月 保土ヶ谷宿場まつり	●11月23日 生麦旧東海道まつり	
●6月第1日曜 蛇も蚊もまつり					●8月第1日曜 富塚八幡宮例大祭	8月中・下旬 虫の音を聞く会		●10月 とつか宿場まつり			
							●9月4・5日 水天宮・平沼神社例祭				
							9-11月 武相宿場 通行手形				
									11月上旬 藤棚へそ祭り		

**定例イベント**  
 毎週火曜／朝市街道  
 毎月最終土曜(除く7月)／つるぎんドット来〜い!!  
 毎月第1,3土曜／ハマの市場を楽しもう  
 毎月第1日曜(1月・8月定休)／ごうどいち

## 横浜旧東海道の行事・イベント紹介

**1月上旬／鶴見七福神めぐり** MAP P15-P16  
 ④ 總持寺など ⑤ 鶴見区文化協会／火曜～金曜10時～16時 ☎045-582-0881  
 幸せをもたらす7神(福祿寿・寿老人・大黒尊天・毘沙門天・恵比寿神・弁財天・布袋尊)のご朱印を押しながら、1年の健康を折って歩く。

**2月(節分)／笠程稲荷神社 節分追儺式(ついなしき)** MAP P17,D2  
 ④ ⑤ 笠程稲荷神社(かさのぎいなりじんじゃ) ☎045-441-0470  
 年男・稚児が氏子町内を練り歩き、節分の和歌を朗詠し、弓の弦を鳴らして除災招福の豆まきをする。横浜市の無形民俗文化財。

**4月29日(祝)／田祭り** MAP P15,D1  
 ④ ⑤ 鶴見神社 ☎045-501-4122  
 春の田起こしから秋の収穫まで米作りに関する農作業を古雅な響きの神楽(かみほぎうた)に合せて歌い踊る、鎌倉時代から伝わる民俗芸能。

**6月上旬／浅間神社 例大祭** MAP P19,D1  
 ④ 浅間神社  
 旧暦の富士山の山開きに合わせて行われるお祭り。6月の第一週目の土日には神輿や山車が練り歩くほか、旧東海道沿いに露店が立ち並び、毎年華やかな賑わいをみせる。地域住民はもちろん、市外からの見物客も多い。

**6月第1日曜／蛇も蚊もまつり** A MAP P16,B3,C3  
 ④ ⑤ 神明社:生麦蛇も蚊も保存会 ☎045-521-5971  
 ⑥ 道念稲荷神社:本宮蛇も蚊も保存会 ☎045-502-0233  
 生麦の二つの神社で約300年続く祭り。茅で作られた長さ20mほどの大蛇を地域住民が担ぎ、町を練り歩く。

**7月14日／お札まき** B MAP P24,B3  
 ④ 八坂神社  
 市の無形民俗文化財に指定されている伝統行事。毎年7月14日の八坂神社の夏祭りに行われる。

**8月19日～20日／杉山神社例祭** MAP P20,D3  
 ④ ⑤ 杉山神社 ☎045-321-1980  
 出雲大社の主神、大己貴命(おこなむちのみこと)の分霊を祭った神社。お祭りでは、地域住民による神輿行脚や神楽が披露される。

**8月中・下旬／虫の音を聞く会** MAP P19,D3  
 ④ ⑤ 掃部山公園 ⑥ ふるさと西区推進委員会事務局 ☎045-320-8389  
 横浜開港の立役者であり、旧彦根藩主であった井伊掃部頭直弼公をしのび行われる。野点(のだて)や琴、尺八の演奏などを楽しむ夏の夜の風物詩として、昭和40(1965)年以降長きにわたり区民に親しまれている。

**8月第1日曜／富塚八幡宮例大祭** MAP P24,B3  
 ④ ⑤ 富塚八幡宮 ☎045-871-2908  
 延久4(1072)年創建、戸塚宿の総鎮守の例大祭。天保14(1843)年製作の神輿が東海道を練り渡る。

※雨天・荒天時は事前に開催状況をお問い合わせの上、お出かけください。



**① 生麦旧東海道まつり**  
 11月23日(祝) 生麦魚河岸通り  
 徳川幕府以来、御菜(おさい)八ヶ浦の一つとして江戸城に魚介類を献上していた生麦は、今も魚介類を扱う店が多い。まつりでは通りを歩行者天国として開放し、アナゴのてんぷらなど魚河岸ならではのイベントやグルメが楽しめる。



**② 保土ヶ谷宿場まつり**  
 10月 保土ヶ谷駅西口商店街・保土ヶ谷駅西口さつき会  
 旧東海道に位置する商店街で、沿道商店の出店や、旧東海道PRの展示、ステージイベントなどを実施。



**③ お札まき**  
 7月14日 八坂神社  
 市の無形民俗文化財に指定されている伝統行事で、無病息災を祈願し、女装した男性が歌いながら町内を歩き、「正一位八坂神社御守護」と刷られたお札をまきます。



**④ 蛇も蚊もまつり**  
 6月第1日曜 神明社、道念稲荷神社  
 生麦の二つの神社で約300年続く祭り。市の無形民俗文化財に指定されている。茅で作られた20mほどの大蛇を担いで町内を練り歩き、疫病退散等を願う。

## おすすめイベント



個性豊かな  
イベントが満載

## 歳時記

## 横浜 旧東海道

**9月～11月／武相宿場 通行手形** MAP P19,D2  
 ④ 沿道店舗 ⑤ 東海道風景街道(桑木屋) ☎045-331-0233  
 横浜市から藤沢市の旧宿場町を巡るスタンプラリー。通行手形(スタンプ台紙)を期間中に協力店舗に提示すると、サービスを受けられる。

**9月4・5日／水天宮・平沼神社例祭** MAP P19,D2  
 ④ ⑤ 水天宮・平沼神社 ☎045-321-8895  
 地元平沼町を埋め立てた5代目平沼久兵衛により、天保10(1839)年に創建された神社。9月5日の例祭では、神輿を担ぐ人々や里神楽の奉納で賑わう。両日とも露店の出店あり。

**10月／保土ヶ谷宿場まつり** C MAP P21,D3,E3  
 ④ 保土ヶ谷駅西口商店街・保土ヶ谷駅西口さつき会  
 旧東海道に位置する商店街で、沿道商店の出店や、旧東海道PRの展示など。

**10月／とつか宿場まつり** MAP P24,B3  
 ④ 戸塚区総合庁舎3階、戸塚駅西口デッキ  
 ⑤ とつか宿場まつり実行委員会 ☎080-5545-4163  
 地域で活動する様々な団体による旧東海道・戸塚宿PRのイベント、展示など。

**11月上旬／藤棚へそ祭り** MAP P20,B3,C3  
 ④ 藤棚地区商店街 ⑤ 藤棚地区商店街連合会 ☎045-231-8160  
 何基もの神輿が商店街を練り歩くほか、パレードや露店の出店もあり。地域住民や見物客で賑わいを見せるお祭り。

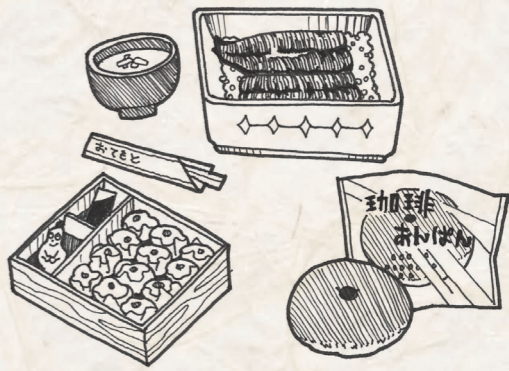
**11月23日(祝)／生麦旧東海道まつり** D MAP P16,C3  
 ④ 生麦魚河岸通り ⑤ 生麦第一地区連合会 ☎090-2942-4299(内田)  
 通りを歩行者天国として開放し、アナゴの天ぷら・鮮魚・塩干・青果・食品等の直売、模擬店も多数あり、イベントやグルメが楽しめる。

**毎週火曜日 10:00～**(売切次第終了)／朝市街道 MAP P18,C3  
 ④ 旧東海道等の沿道 ⑤ ほどがや人・まち・文化振興会  
 ☎045-335-7164  
 旧東海道沿道等の店舗で地場野菜の販売。

**毎月最終土曜(除く7月)／つるぎんドット来〜い!!** MAP P18,D2  
 ④ 鶴見銀座商店街 ⑤ 鶴見銀座商店街協同組合 ☎045-501-5250  
 フリーマーケットや店頭でのワゴンセール、空くじなしの抽選会など、楽しみが盛りだくさんのイベント。

**毎月第1,3土曜／ハマの市場を楽しもう**(市場市民開放) MAP P18,C3  
 ④ 横浜市中央卸売市場本場 ⑤ 横浜魚市場卸協同組合イベント係  
 ☎045-459-3400(8:30～15:00)  
 9時～11時、お魚さばき方教室や魚河岸汁の配布など。  
 ※休業日等、実施しない場合がありますので、事前にお問合せ下さい。

**毎月第1日曜 10:00～**(1月・8月定休)／ごうどいち MAP P21,E3  
 ④ 保土ヶ谷駅西口商店街北川製粉所 ⑤ ほどがや人・まち・文化振興会  
 ☎045-331-0233  
 保土ヶ谷区内産のとれた新鮮野菜・保土ヶ谷産名物の販売や地域の今昔写真の展示など。



## 横浜らしさが詰まった名店・名品の数々

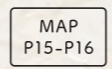
古くから多くの人々が行き交い、にぎわった東海道と宿場町。いつの時代でも旅や物見遊山に欠かせないのは、その土地ならではの「食」や「みやげ」です。  
横浜旧東海道沿いにも、横浜ならではの美味しいものや、楽しさいっぱいのお土産がたくさんあります。積み重ねられてきた歴史の重みや開国以来の進取の精神が感じられる、名店・名品の魅力を、のんびりと「みち散歩」しながら、是非お楽しみください。



よねまんじゅう

## 鶴見 生麦 つるみみやげ

鶴見区制80周年の節目となる平成19年、鶴見のみやげとして誇れる逸品を、「つるみみやげ」として選定しました。お江戸日本橋の道中唄にも詠われている東海道の鶴見名物「よねまんじゅう」をはじめ、人々に愛され続ける鶴見ならではの土産の数々を、是非ご覧ください。



### ご当地、おすすめ。 鶴見 生麦編

- よねまんじゅう** 御菓子司 清月/甕った鶴見名菓  
☎045-501-2877 営業時間:8:30~18:00 定休日:日曜祝日
- 珈琲あんぱん** エスプラン/食べた瞬間、カフェオレ風味が口にひろがるあんぱん  
☎045-501-2147 営業時間:7:30~18:30(土曜・祝日~18:00) 定休日:日曜・月曜
- 鶴見あげパン** ベル・エポック/カスタードクリームを塗った大人気のあげぱん  
☎045-571-4150 営業時間:9:00~20:00 定休日:日曜祝日
- スフレフロマージュ** パティスリーラプラス/一口サイズのチーズケーキ  
☎045-502-6645 営業時間:10:00~19:30(ラストオーダー18:00) 定休日:水曜
- 禅Tシャツ** 曹洞宗大本山總持寺/名僧入魂の墨蹟が踊るTシャツ  
☎045-581-6021 営業時間:9:00~16:00 定休日:なし
- ブリオッシュ豆パン** ベルナルかもしだ BERNARD/5色の豆が色鮮やかなパン  
☎045-581-1105 営業時間:8:00~19:30 定休日:日曜祝日
- 貝最中 生麦の里** ふくべ菓子舗/ハマグリ型のこだわり最中  
☎045-501-5912 営業時間:9:00~18:00 定休日:水曜、月2回火曜
- 鶴見川** 和泉屋本店/軽さの中に力強い個性のある日本酒  
☎045-581-3648 営業時間:9:00~21:00 定休日:日曜



禅Tシャツ



貝最中 生麦の里

## 保土ヶ谷宿名物会

「保土ヶ谷宿」の歴史を生かした商品とお店。名店が織り成す、伝統の味をご賞味ください。



**菓匠 栗山**  
「ごんた餅」など保土ヶ谷宿にちなんだ商品が豊富  
☎045-713-2515  
営業時間:9:00~19:00 定休日:月曜ただし祝祭日は営業



**炭火手焼き 保土ヶ谷せんべい**  
一枚一枚炭火で焼いた愛情タップリの味  
☎045-713-1029  
営業時間:9:30~18:10 定休日:火曜



## 保土ヶ谷宿の歴史の面影をつなぐ蕎麦屋 宿場そば 桑名屋

宿場の歴史に敬意を込めて打つ風味豊かなそば

JR保土ヶ谷駅西口から1分にある「宿場そば 桑名屋」は、明治19(1886)年の開業以来、今年で132年目を迎えた老舗中の老舗。黒い板作りの二階建てで、入口の格子戸の障子に「宿場そば」という鮮やかな墨文字が浮かび上がる様は、そこだけが江戸時代にタイムスリップしたかのような佇まい。  
4代目店主の近藤博昭さんは、



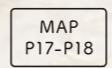
熟練の技でそばを打つ近藤さん  
☎045-331-0233  
営業時間:11:00~21:00  
定休日:木曜

今から20数年前、広重の「東海道五十三次」の保土ヶ谷宿の風景に「二八そば」が描かれていることを発見してから、ご自身が保土ヶ谷宿で蕎麦屋をやっていることの意義深さに深い思いを馳せるようになったそう。以来、まちを愛する仲間とともに保土ヶ谷宿を盛り上げ、多くの人々にその魅力を伝えていくことに、熱心に取り組まれています。そんな近藤さんが打つ江戸前の蕎麦は、風味と香りを大切にしたい味わい。東海道を歩く旅人になった気分、ふらりと立ち寄り食してみたい。



## 神奈川宿 わが町かながわとっておき名店・名品

横浜開港150周年という記念の年に、自然・文化・歴史・暮らし・産業など、有形・無形を問わず様々な分野から選りすぐりの魅力資源を、「わが町かながわ とっておき」として認定しました。その中でも、食べて嬉しい、買って嬉しい名店・名品をご紹介します。



岩井の胡麻油

### ご当地、おすすめ。 神奈川宿編

- 岩井の胡麻油** 安政4(1857)年創業の老舗、香味抜群の胡麻油  
☎045-441-2033 営業時間:9:00~17:00 定休日:土日祝
- うなぎの菊家** うなぎ、米、たれ、焼き具合の全てが絶品  
☎045-322-4141 営業時間:11:30~14:00/16:00~20:00 定休日:日曜
- ガトーよこはま** 伝説のチーズケーキ  
本店 ☎045-441-2310 営業時間:9:00~18:00 定休日:なし
- 千草庵** 「本煉りようかん」は神奈川県指定銘菓  
☎045-421-2483 営業時間:8:00~18:00 定休日:日曜
- 能登屋** 練り製品は魚を美味しく食べる健康食品  
本店 ☎045-431-1236 営業時間:9:00~18:30 定休日:木曜  
大口店 ☎045-431-3758 営業時間:9:00~18:30 定休日:木曜



ガトーよこはま



能登屋

横浜道  
保土ヶ谷道

MAP  
P19-P20

にしまろちゃんが  
おうちで食べたい！  
おいしいもの大集合

平成26年の西区制70周年を記念して選定された一度食べた  
ら忘れられない西区の逸品。  
西区のマスケットキャラクタ  
ー「にしまろちゃん」も太鼓  
判を押すおいしいものの数々  
から、旧東海道や横浜道、保土  
ヶ谷道で手に入る商品をご紹  
介します。



千代田の栗最中

ご当地、おすすめ。 横浜道・保土ヶ谷道編

- ふらんすやまポテト** ふらんすやま 藤棚店/添加物を一切使用しない材料にこだわった地元で人気の洋菓子店  
☎045-321-3195 営業時間:9:00~21:00 定休日:なし
- はま焼き** 今井かまぼこ/魚で作る、新感覚!たこ焼き風のさつま揚げ  
☎045-321-7876 営業時間:10:00~18:30 定休日:日曜
- 平沼そだち** 寿々喜家菓子舗/栗の入ったカステラ饅頭など3種を取りそろえる。地元老舗の一品  
☎045-321-4375 営業時間:9:00~20:00 定休日:日曜
- 千代田の栗最中** 千代田栗最中本舗/第1回神奈川県指定銘菓に選定。横浜名物として戦前より親しまれる品  
☎045-311-2764 営業時間:9:00~19:00 定休日:日曜
- 横浜めんたい** たにや ぎょらん工房/たらこは北海道産、唐辛子は地元戸塚産を使用  
☎045-314-3951 営業時間:10:00~16:00 定休日:土日祝日
- さざみ鴨せいり** 平沼田中屋/鴨のうまみを刻んで、熱々の鴨汁に絡めていただく絶品そば  
☎045-322-0863 営業時間:11:00~21:30(祝日は21:00まで) 定休日:日曜・第3月曜
- 黒毛和牛ハンバーグ** グリル アラベル/国産黒毛和牛100%のハンバーグは、無添加なので子どもにも安心  
☎045-620-3457 営業時間:11:00~15:00/17:00~22:00 定休日:なし
- やまゆりポークバラ角煮** 井上富蔵商店/神奈川で育った美味しい豚肉を使用。じっくりと豊かな風味の角煮  
☎045-322-5529 営業時間:9:00~17:00 定休日:日曜祝日



横浜めんたい

戸塚宿

MAP  
P24

おいしいもの  
とつかブランド

平成26年の戸塚区制75周年を記念して、区内で販売されているおいしいものを「おいしいもの とつかブランド」として認定しました。その中から、旧東海道沿いにあるお土産にお薦めのスイーツをご紹介します。



あんだんご



東海道原宿もなか

ご当地、おすすめ。 戸塚宿編

- あんだんご** 献上菓舗 大竹屋/こしあんと粒あんの二つの味が一度に楽しめます  
☎045-881-6712 営業時間:9:30~19:00 定休日:日曜
- お菓子なとつかとうふ** 吉田屋/豆乳を使用したやさしい味わいのお菓子 「ゆず」と「ごま」の2種類の餡  
☎045-881-0138 営業時間:9:00~18:00(日曜祝日~17:00) 定休日:火曜
- 東海道原宿もなか** 菓匠 亀福/旧東海道の原宿にあった古民家をモチーフにしたもなか  
☎045-851-1957 営業時間:9:00~19:00(日曜祝日~18:00) 定休日:月曜
- 戸塚のいも畑** カナール/バターたっぷりの生地にお手の風味豊かな焼菓子  
☎045-881-3568 営業時間:10:00~22:00 定休日:なし
- マスクメロンポーチ** T-Berry豊田屋/高級マスクメロンを使用したフルーツ専門店の技が光るデザート  
☎045-881-0066 営業時間:10:00~20:00 定休日:なし



お菓子なとつかとうふ

商店街

明るくて  
穏やかな  
地域の交流  
商店街は愉快です

店頭から投げかけられる威勢のよい掛け声を耳にし、買い物に行き交う人が互いに交わす挨拶を横目で見ながら歩く。通りがかりの店先からは、食欲をそそるおいしそうな匂いがたちのぼり、ふと目にしたお惣菜のボリュームと値段の安さに、驚きと喜びが湧き上がる。商店街には、ほのぼのとした人情と温かさ、そこに暮らす人たちの醸し出す「空気」が色濃く漂っています。土地に根付く人たちの生活に触れ、どこか懐かしい味に舌鼓を打ち、掘出し物に出会える商店街での新たな発見は、まちを散策する醍醐味のひとつ。横浜の活気ある個性豊かな商店街をそぞろ歩きしながら、横浜の「空気」を感じ、「食」や「人」の魅力を存分に味わってみてください。

ハマのアメ横  
洪福寺松原商店街

「横浜のアメ横」として知られる洪福寺松原商店街は、普段でも一日当たり平均で2万人、2万5千人、年末ともなると10万人が市内外から訪れるという、横浜で最も活気のある商店街のひとつです。昭和27(1952)年の創業時から「松原安売り商店街」という名前で、一貫して「とにかく良いモノを安く」提供する商店街として、買い物客の心を鷲づかみにしています。緑日のような露店や、立ち食いメニューも豊富な飲食店が立ち並び、歩いているだけで楽しくなる昔ながらの商店街は、保土ヶ谷宿に行くなら必見です。



☎045-341-7920

MAP  
P21,F2



その他のオススメ商店街

旧東海道の近くには、個性豊かでにぎやかな商店街が点在しています。その街の物や人との出会いを求めて商店街へ出かけてみるのもおすすめです。

- 大口通商店街 ☎045-421-2996 P17,E1
- 藤棚地区商店街連合会 ☎045-231-8160 P20,B3 C3
- 浅間下商店街ニコリ会 ☎045-311-0138 P19,D1
- 保土ヶ谷駅西口商店街 ☎045-331-3425 P21,D3 E3
- 保土ヶ谷駅西口さつき会 ☎045-331-0481 P21,E3
- 協同組合戸塚旭町通商店会 ☎045-871-2554 P24,B3
- 戸塚宿ほのぼの商和会 ☎045-410-9860 P24,B3
- とつか駅前商店会 ☎045-881-0058 P24,C2
- 戸塚東口商店会 ☎045-866-0310 P24,B3 C3
- 戸塚駅東口ラビス商店会 ☎045-861-8172 P24,C3



天王町商店街

MAP  
P21,F1 F2

食のまち(商店街)として、様々な名物づくりや、橘樹神社を中心とした貴重な歴史的遺産を活かしたイベントなどに取り組んでいます。

☎045-335-6659



鶴見銀座商店街

MAP  
P15,D2

毎月最終土曜日は、店頭でのワゴンセールやフリーマーケット、空クジなしの抽選会などが楽しめる「つるぎんドット来ーい!!」を開催。たくさんの人で賑わいます。

☎045-501-5250

# 横浜 旧東海道 歴史を巡る



史跡が物語る  
旅人の足跡

古くから旅人にとって重要な路であった東海道。沿道には、時代の変遷を見届けてきた歴史資産が数多く残っており、それぞれの由来や伝承など、歴史の流れをつむぐ様々な物語が語り継がれています。人々の信仰の拠り所であり、賑やかな祭礼が行われる場所だった神社や仏閣は、時に旅人が立ち寄り、心静かに休息する場でもあったことでしょう。ふと足を止めた先にある一里塚や石碑は、旅人の道標。本陣や旅籠の前を通れば、旧東海道を往來した大名行列や旅人の姿が浮かびます。もちろん、今は姿を留めていないくとも、後の人々の手で作られた案内板なども、歴史を知る大切な手がかりです。年輪を重ねた建物が醸し出す空気を感じ、時を越えて伝わる物語に耳を傾けながら、現代の旅人となって、旧東海道の歴史を訪ね歩いてみませんか。

## 鶴見 生麦

**PICK UP**  
大本山總持寺

MAP P16,C1 C2

曹洞宗の大本山。もとは石川県輪島市にありましたが、明治44(1911)年に鶴見に移転しました。大祖堂(だいそどう)、三門(さんもん)をはじめ、七堂伽藍が備わり、鶴見の象徴ともいえる存在となっています。平成17(2005)年に仏殿など16件の建物が国の登録有形文化財に指定されました。墓所には著名人が多数眠ります。初詣・節分・盆踊りなどには多くの人々が賑わいます。また、坐禅会も開催しており、気軽に坐禅体験ができます。



## 市場村一里塚

日本橋から5つめの一里塚です。明治9(1876)年の地租改正のおりに払い下げられ、現在は片方だけが残り、旧東海道に面して「市場村一里塚」の記念碑が建っています。



MAP P15,E1

## 生麦事件発生場所、 生麦事件碑

英国人4人と薩摩藩島津久光の行列が鉢合わせた現場にはプレートが、英国人リチャードソンが落命した場所には事件碑があります。



MAP P16,A3

## 神奈川宿

神奈川台場跡

神奈川台場は、江戸幕府が勝海舟の設計により構築した海防砲台です。現在では、石垣の一部のみを見ることが出来ます。



MAP P18,C3

## 上台橋

かつて、このあたりは潮騒の間こえる海辺の道でした。この地に橋ができたのは、昭和5(1930)年。切り通しの道路の上に橋が架けられたのです。18ページ・COLUMNの「神奈川宿 歴史の道」は、この橋から始まります。



MAP P18,A2

**PICK UP**  
高札場

MAP P18,C2



高札場は、幕府の法度(はつと)や掟(おきて)などを庶民に徹底させるために設けられた施設です。宿場の施設として重要なものでしたが、明治に入り情報伝達の手段が整うにつれ、姿を消してしまいました。当時の高札場は、現在の神奈川警察署西側付近にありました。写真は、幸いに残されていた資料をもとにして、神奈川地区センター前に復原したものです。その規模は、およそ間口5m、高さ3.5m、奥行1.5mと大きなものでした。

## 本覚寺

開港当時、アメリカ領事館に充てられたお寺です。神奈川領事であったドーアは、庭の松の枝を払い落として、星条旗を掲げたといわれています。さらに山門をペンキで塗り、日本人の立ち入りを禁じたといわれています。



MAP P18,B2

## 慶運寺

開港当時、このお寺は、フランス領事館に充てられました。また、このお寺には、浦島太郎が竜宮城に行った時、乙姫様からいただいたという菩薩像などが伝わっているといわれており、浦島寺とも呼ばれています。



MAP P18,C2

保土ヶ谷宿

**PICK UP**  
旅籠  
本金子屋跡

MAP P21.D3

江戸時代、本金子屋は旅籠として栄えました。明治時代初期に建替えられた現在の建物も、東海道沿いに建つ旅籠の面影を残しています。敷地内には、本格的な日本庭園（非公開）があり、大正天皇がお忍びで旅をされたときに休まれたといわれている石などがあります。



※見学は建物外観のみで、庭や建物の内部は公開していません。

松並木プロムナード

区民と横浜市との協働により、松32本を植樹し、旧東海道を象徴する松並木がよみがえりました。松並木の中に一里塚も復元し、塚の上には昔のように榎（エノキ）を植え、松並木とともに再現されています。地域の皆さんによる美化活動が盛んです。



MAP P22.D2

金沢横丁の石碑

金沢や鎌倉へ向かう道との分岐点で、角に道案内の石碑が4基並んでいます。その中にある「程ヶ谷の枝道曲がれ梅の花」と杉田梅林への道を示す俳句を詠んだ碑は、地域有形民俗文化財になっています。



MAP P21.D3

横浜道

保土ヶ谷道

洪福寺

寺伝では、開山呑海（どんかい）といわれ、寛永13（1636）年、袖摺山（そですりやま）薬師堂を当地に移したとされています。本尊薬師如来は、鎌倉権五郎景政の守り本尊と伝えられ、目洗薬師といわれています。



MAP P20.C2

浅間神社

承暦4（1080）年、富士浅間神社の分霊を祀ったと伝えられ、祭神は、木花咲耶姫命（このはなさくやひめのみこと）で旧芝生村（しばうむら）鎮守。社殿のある丘、袖摺山（そですりやま）の下は、かつて波打ち際だったといわれています。



MAP P19.D1

橘樹神社

創建は鎌倉時代初期。江戸時代は牛頭天王社（ごずてんのうしや）といわれ、大正時代に今の橘樹神社となりました。当地名の天王町は、旧社名に由来。本殿の庚申塔（こうしんとう）は、横浜市内最古といわれています。



MAP P20.B2

戸塚宿

品濃一里塚

江戸から数えて九番目の一里塚です。神奈川県内では、ほぼ完全な形で残る唯一の一里塚で、県の指定史跡となっています。



MAP P23.F1

澤邊本陣跡

戸塚宿に二つあった本陣のうちの一つです。本陣創設時の当主、澤邊宗三は戸塚宿の開設にあたり幕府に強く働きかけた功労者です。



MAP P24.B3

PICK UP

富塚八幡宮

MAP P24.B3

戸塚宿の総鎮守で、祭神は譽田別命（応神天皇）と富属彦命の二柱です。源頼義・義家父子がここに野営し、夢で応神天皇の神託を受け戦に勝利した事に感謝し、延久4（1072）年に社殿を造り、その御霊を勧請したとのこと。山頂の古墳は富属彦命の墳墓（ふんぼ）とされており、「富塚」と呼ばれ、これが「戸塚」の地名の起りともいわれています。境内には松尾芭蕉の句碑もあります。



大山前不動

江戸時代の大山詣での、大山道入口です。御堂には正徳3（1713）年建立の不動明王像が祀られています。お堂の前には「従て大山道」と刻まれた道標や、庚申塔などがあります。



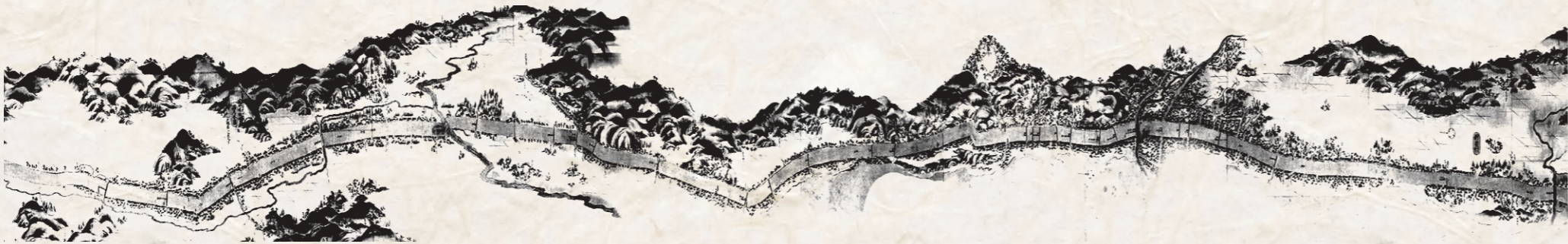
MAP P24.D2

清源院

徳川家康の側室お万の方ゆかりのお寺です。本尊は徳川家康から拝領した歯吹阿弥陀如来（はふきあみだにょらい）で、境内には松尾芭蕉の句碑、心中句碑があり、墓地最上部にお万の方の遺骸火葬跡の碑があります。



MAP P24.B2



PICK UP

二代目横浜駅基礎遺構

MAP P19.E3

二代目横浜駅は、スイッチバック方式であった初代横浜駅（現在の桜木町駅）を改善するため、大正4（1915）年に建設、駅舎はネオルネサンス様式の煉瓦造建築でした。翌年開業しましたが、大正12（1923）年の関東大震災の火災により取壊され、現在の横浜駅の地に三代目横浜駅が誕生するまでの僅かな期間であったため、「幻の横浜駅」とも呼ばれます。横浜の鉄道史上、都市形成史上重要な意味を持ちます。





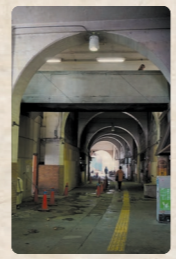


生麦は、神奈川と川崎の2つの宿の間にあり、神奈川へ一里(約4km)、川崎へは一里半(約6km)離れており、江戸日本橋からは六里(約24km)の距離にあります。江戸時代、生麦は江戸の将軍家に魚介類を献上していました。ひなびた漁村だった生麦が歴史に登場するのは、文久2(1862)年のこと。この年の8月21日の午後2時頃に起きた薩摩藩による英国人殺傷事件という不幸なことから、生麦村の名前は歴史の1ページに記されました。この事件は大きな外交問題となり、そのつれから文久3(1863)年薩英戦争が起きました。横浜市鶴見区生麦1丁目、旧東海道の一部には、事件を今に伝える「生麦事件碑」が建てられています。

### C COLUMN

#### 国道駅

旧国道1号(現在の国道15号)と交差する地に、昭和5(1930)年に開業した駅です。駅舎はアールヌーボー調の建物で、開設当時はホームの下に「臨港デパート」がありました。昭和レトロな雰囲気が残る駅として知られています。



### 麒麟ビール 横浜工場

大正15(1926)年、横浜山手から移転開設した歴史ある工場です。横浜工場では、工場見学、ビールソフトドリンクの試飲が、また併設の2つのレストランではお食事が楽しめます。※月曜休業(祝日の場合は翌日)、工場見学、レストラン利用には予約が必要です。



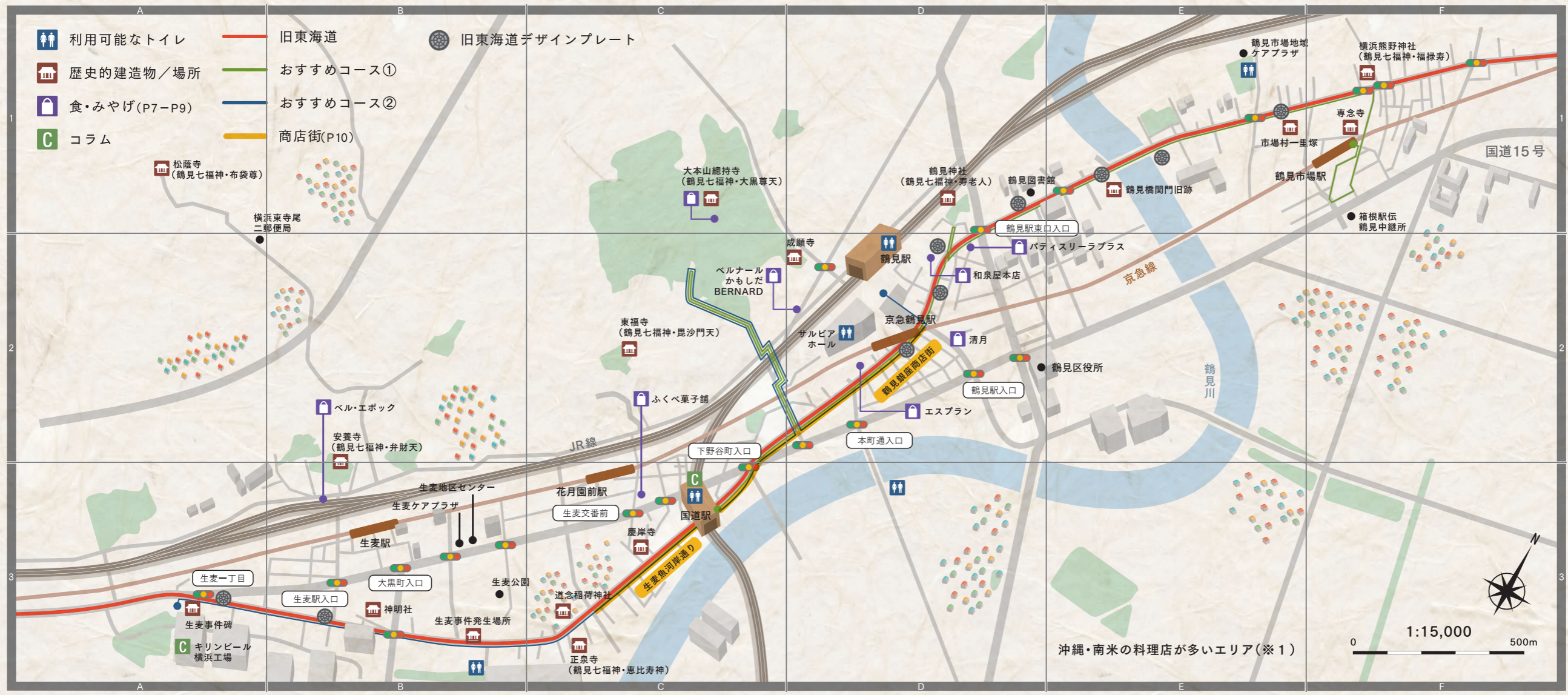
### 旧東海道 デザインプレート

横浜市では健康みちづくり推進事業の一環として、旧東海道沿道の魅力向上のため、東海道のデザインをあしらったプレートを設置しています。今後も市内旧東海道沿いに、このデザインをあしらったサインの掲出を進めていきます。



## 鶴見 生麦

時代を大きく変えた「生麦事件」のゆかりの地



※1:各国のお店を紹介したガイドブックは、横浜市鶴見区HPからダウンロードできます。区HP内で「つまみde多文化2」で検索。

#### おすすめコース①

市場村一里塚  
 大本山總持寺コース  
 全長距離 4.8 km

鶴見市場駅  
 箱根駅伝鶴見中継所  
 市場村一里塚  
 鶴見神社  
 大本山總持寺  
 国道駅

#### おすすめコース②

大本山總持寺  
 生麦コース  
 全長距離 4.7 km

鶴見に移転し100年あまりの大本山總持寺と、生麦事件の舞台を巡るコースです。約150年前の出来事に想いを馳せた後は、麒麟ビール横浜工場でおいしいひとときをどうぞ。

鶴見駅・京急鶴見駅  
 大本山總持寺  
 国道駅  
 生麦魚河岸通り  
 生麦事件発生場所  
 麒麟ビール横浜工場

©麒麟ビール横浜工場見学について [問合せ]045-503-8250(10時~17時) またはHPを。

©總持寺坐禅会について [問合せ]總持寺参禅室045-581-6086またはHPを。



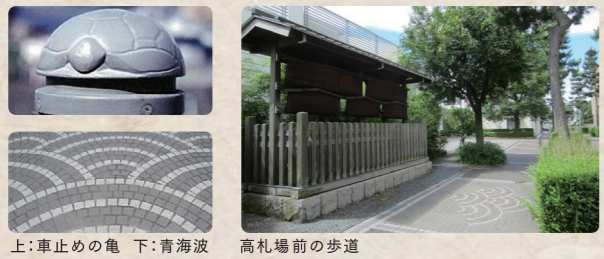
Yokohama  
KYU TOKAIDO  
Walking Map

KANAGAWA  
SHUKU

東海道五十三次のひとつ、神奈川宿は、日本橋を出て3番目の宿場であり、この地名が県や区の名前の由来です。内陸部への物資の集散地として栄え、幕末開港の舞台となった宿場として、外交史上においても重要なポイントとなりました。しかし、関東大震災と第二次世界大戦によって、歴史的遺産の多くを失いました。そのため地元の人でさえ、東海道がどこを通り、宿場町の様子がどのようなであったかを知る人は少なくなりました。現在、宿場町当時のものをほとんど失っていますが、詳細に見れば、当時の面影をみつけることができます。

### C COLUMN 神奈川宿 歴史の道

神奈川宿歴史の道は、歴史や伝説を残す要所にガイドパネルを設けるとともに、道づくりと景観整備を行い、楽しく歩くことができるようにした歴史の散歩道です。歩道には、こげ茶色のレンガタイルが敷かれ、一部は「青海波(せいがいば)」がデザインされています。また、車止めには浦島伝説にちなみ亀がデザインされています。



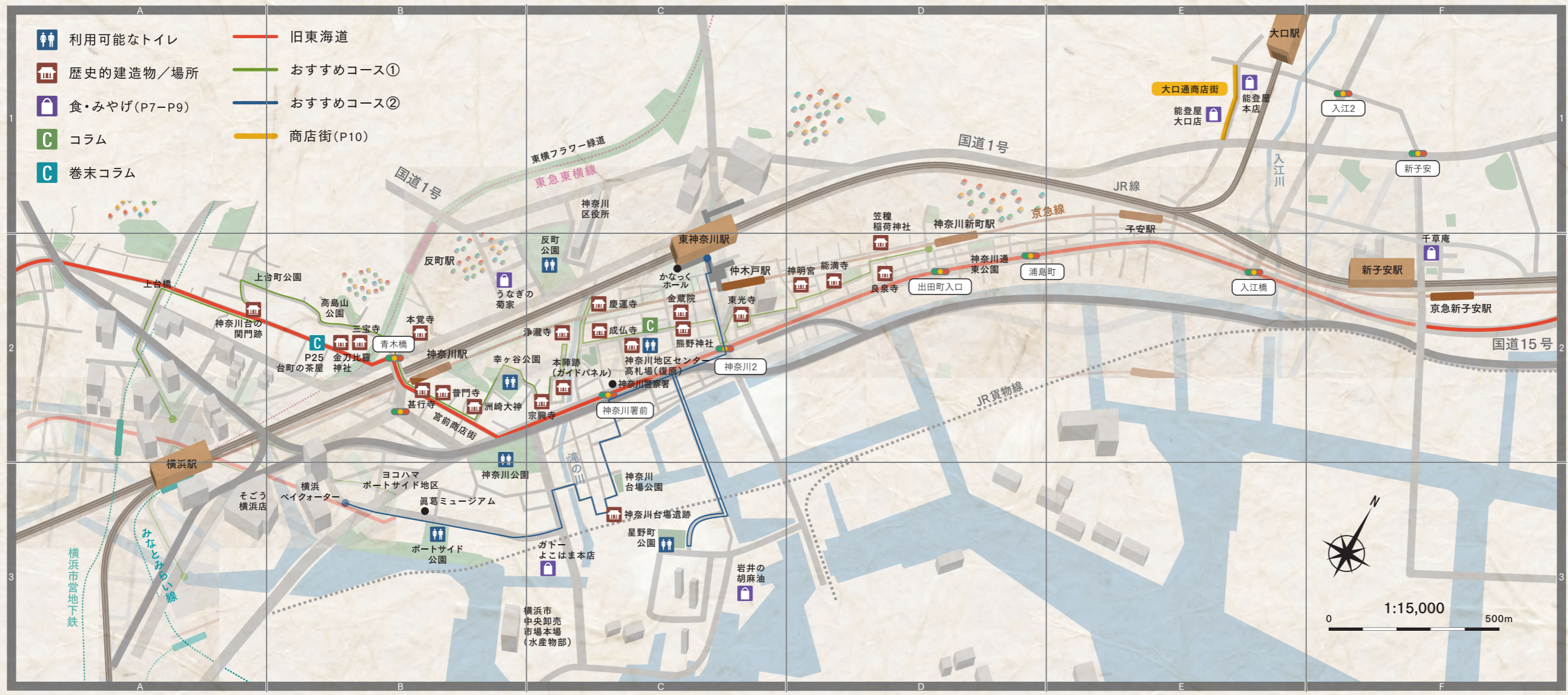
上:車止めの亀 下:青海波

高札場前の歩道

## 神奈川宿

KANAGAWA SHUKU

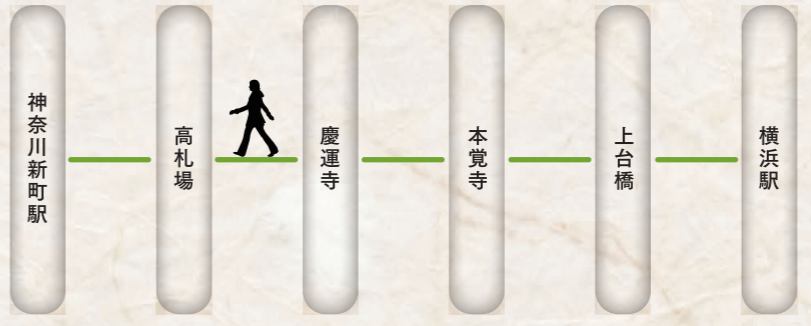
日本橋から七里、  
東海道五十三次では  
3番目の宿場



### おすすめコース①

開港当時、外国の領事館に充てられていたお寺や、復原された高札場を巡るコースです。神奈川宿の歴史を学びながら、のんびりと散歩することができます。

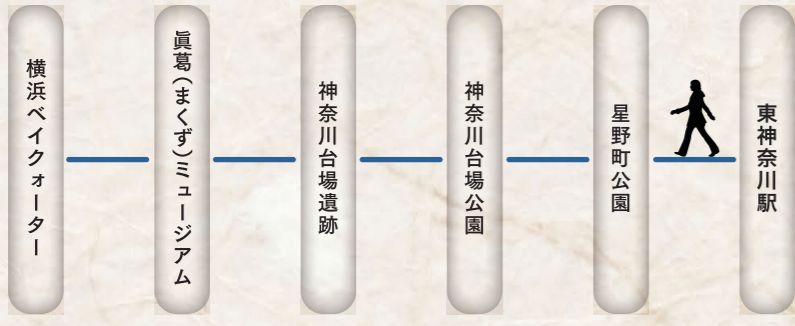
神奈川宿  
歴史の道コース  
全長距離約4.2km



### おすすめコース②

歴史的遺産である神奈川台場にゆかりのある公園や遺跡と、幻のやきものである「眞葛(まக்குず)焼」さらにアート&デザインの街「ヨコハマポートサイド地区」を巡るコースです。

神奈川台場  
ポートサイドコース  
全長距離約3.5km



©宮川香山眞葛ミュージアム [開館日]土曜日・日曜日 [営業時間]10:00~16:00 [入館料]大人500円/中・高校生200円/小学生以下 無料



横浜駅周辺には旧東海道、横浜道、保土ヶ谷道の三街道があり、その周辺には歴史や文化資源が数多く残っています。開港場を目指して全国から集まる人々や物資は、3つの古道を頻りに行き交い、文化が全国に伝えられていきました。この周辺の旧東海道は、神奈川宿から海に沿って保土ヶ谷宿へ通じていました。辺りは袖ヶ浦と呼ばれた内湾で、静かな入り江に白帆が浮かぶなど、大変景色の良い所として有名でした。江戸時代、街道沿いの宿と宿の間には、人足や馬の休憩場所としての立場（たてば）がありました。神奈川宿と保土ヶ谷宿の間の芝生村（しばうむら）は、この立場として発展した村で、農場のほかに飯屋や酒、わらじの販売など商業も営まれていました。

C COLUMN

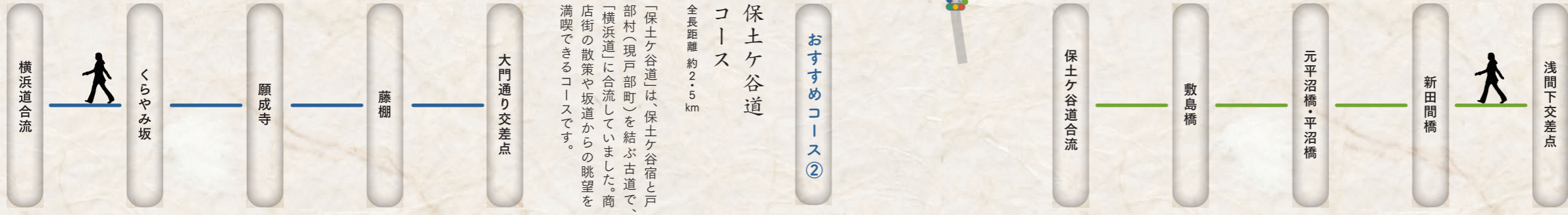
**温故知新のみち**  
日本の開国、横浜の発展を支えた3つの古道、旧東海道、横浜道、保土ヶ谷道の周辺には、歴史資源を楽しめるまち歩きルート「温故知新のみち」があります。コース上には左の3タイプのサインが設置されていて、その場所の昔のまちなみや地形図、歴史のご紹介などをしています。「温故知新のみち」は、4ページ掲載の「よこはまウォーキングポイント事業」の歩数計アプリでもご紹介しています。ぜひ、スポットを探しながら、巡ってみてください。

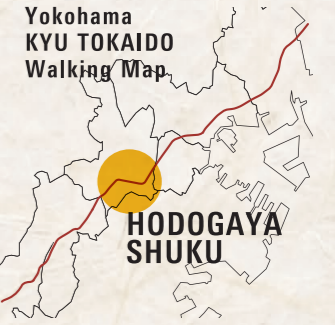


YOKOHAMA-MICHI HODOGAYA-MICHI  
**横浜道 保土ヶ谷道**  
歴史や文化資源が数多く残る風光明媚の地



**おすすめコース①**  
全長距離約2.2km  
安政6(1859)年に開港した開港場横浜と東海道を結ぶためにつくられた道「横浜道」を巡るコースです。かつては「しんみち」と呼ばれていました。





HODOGAYA SHUKU

# 保土ヶ谷宿

日本橋から八里九丁、  
東海道五十三次では  
4番目の宿場

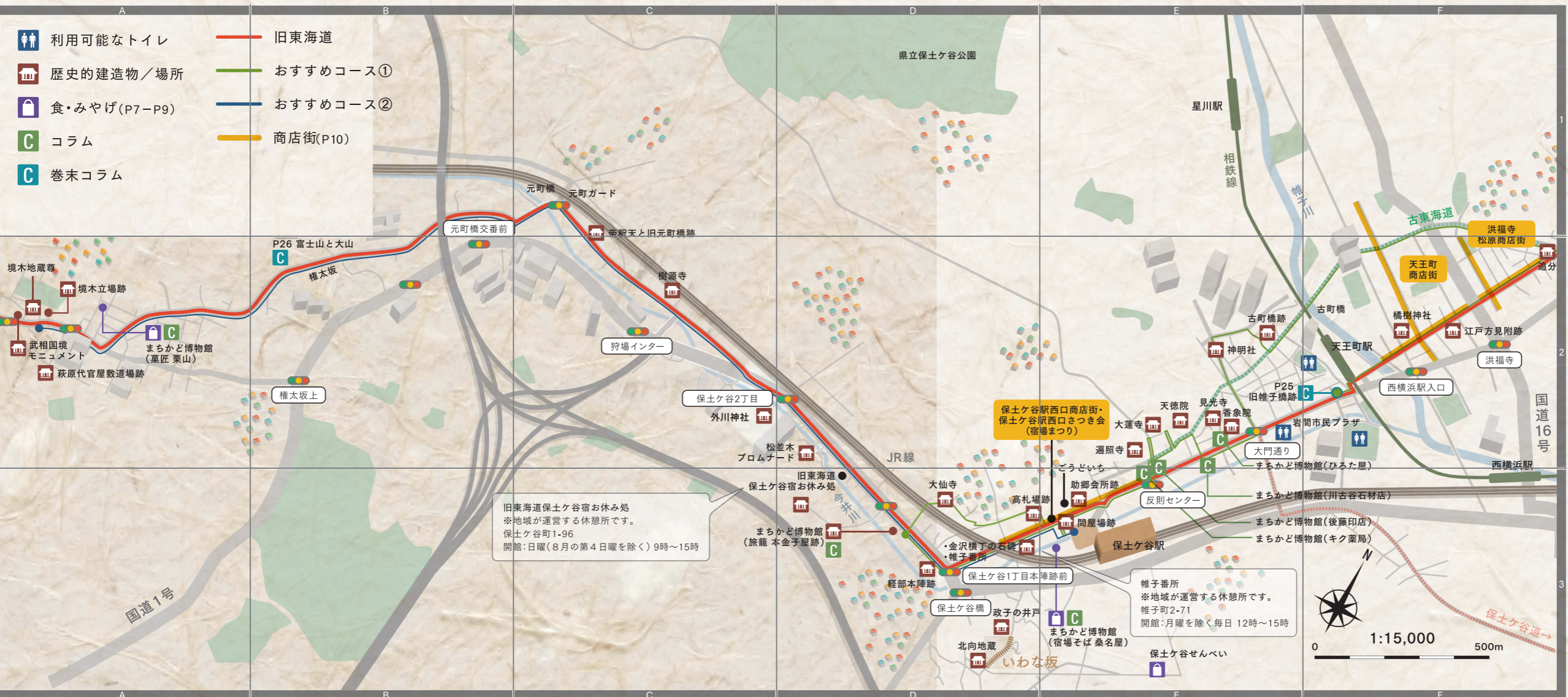
保土ヶ谷宿は、慶長6（1601）年、旧東海道に宿駅の制度が定められた際、幕府公認の宿場として誕生しました。江戸から八里九丁（約33km）で品川・川崎・神奈川に続く4番目の宿場です。保土ヶ谷宿は、芝生村追分（現在の西区との境）から、境木地蔵（現在の戸塚区との境）までの約5kmで、追分から北は神奈川宿、境木地蔵より南は戸塚宿の管轄でした。宿場として街並みを整えていた約2kmの間は、宿内と呼ばれ、本陣を中心に旅籠や茶屋、商店が立ち並び、宿場町としてにぎわっていました。保土ヶ谷駅西口では、毎年10月に地元商店街等によって「保土ヶ谷宿まつり」が開催され、大変賑わいます。お祭りの雰囲気を楽しみながら歩いてみてはいかがでしょうか。

## COLUMN

### まちかど博物館

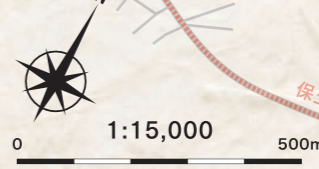
旧東海道沿いに昔からお店をかまえる7か所を「まちかど博物館」とし、お店のちょっとした空間などに、保土ヶ谷で積み重ねられてきた歴史、生活文化を物語る道具や資料を展示しています。  
館長さんに展示物についてのお話をうかがうことや、地域の人の出会いも、まちかど博物館の魅力のひとつです。

### まちかど博物館



旧東海道保土ヶ谷宿お休み処  
※地域が運営する休憩所です。  
保土ヶ谷町1-96  
開館: 日曜(8月の第4日曜を除く) 9時~15時

帷子番所  
※地域が運営する休憩所です。  
帷子町2-71  
開館: 月曜を除く 毎日 12時~15時



### おすすめコース①

ほどがや  
宿内コース  
全長距離約4.2km

保土ヶ谷宿内にあった本陣跡や旅籠跡など、現存する貴重な建物が建ち並ぶ、坂のない歩きやすいコースです。侍型の車止めなど、楽しい発見があるはずですよ。

### おすすめコース②

権太坂  
一里塚コース前編  
全長距離約5km

本陣跡や旅籠屋跡を過ぎると、美しい松並木プロムナードが広がり、その後には江戸時代、旧東海道の最初の難所といわれる「権太坂」が待ち受けています。



戸塚宿の成立は、慶長9(1604)年。隣宿である藤沢、保土ヶ谷の宿が成立した慶長6(1601)年から運れること3年でした。日本橋から数えて5番目の宿場町で、起点の日本橋からは十里半(約42km)の距離にあります。江戸寄りに権太坂、京寄りに大坂という難所にはさまれていたため、朝、江戸を発った当時の旅人にとって初めて宿泊する場所として最適であり、鎌倉への遊山の道、大山参詣の分岐点の宿としても大変にぎわっていました。天保14(1843)年の東海道宿村大概帳(しゅくそんたいがい)によると、宿内の人口は2900人余り、家数は613、本陣は2、脇本陣は3、旅籠は75と東海道五十三次の中では10番目に宿泊施設の多い宿場でした。

### C COLUMN

#### 俣野別邸庭園

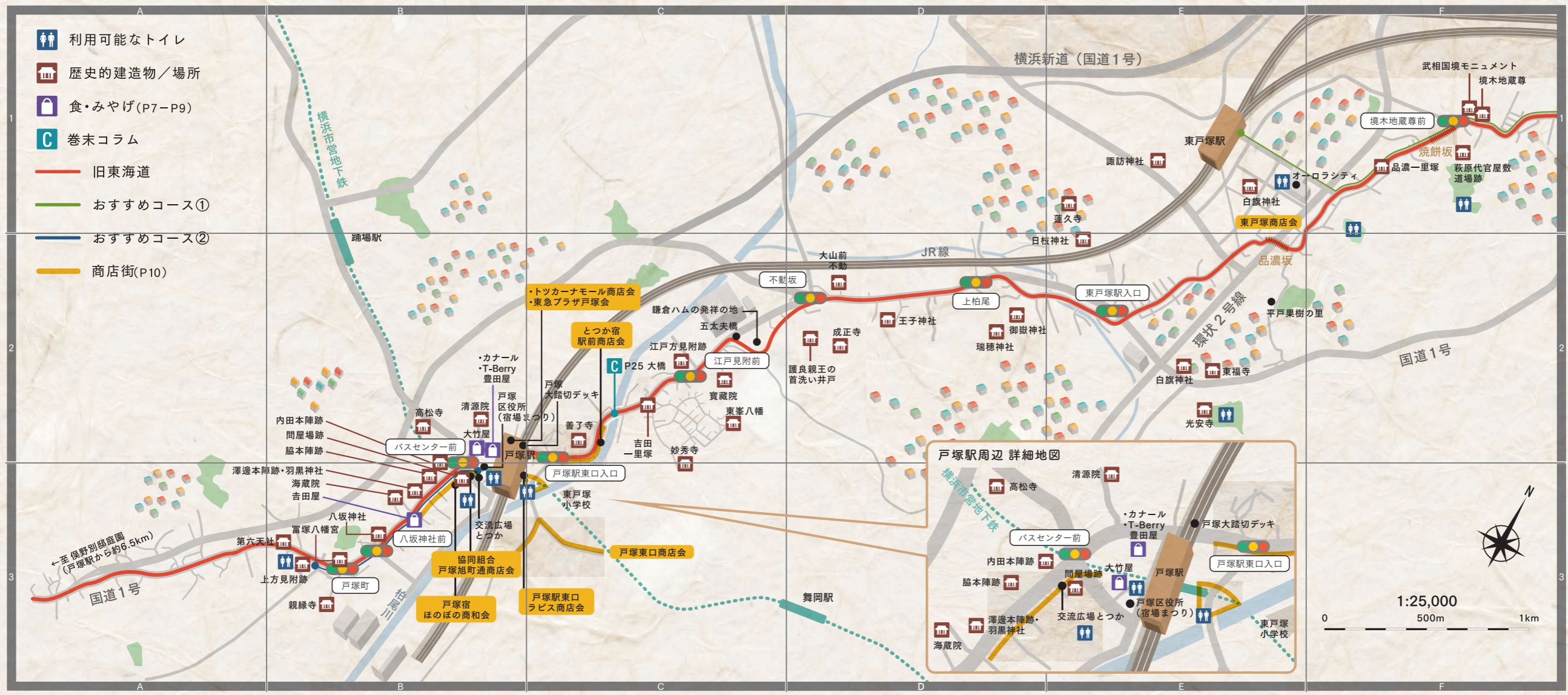
横浜市認定歴史的建造物に指定された俣野別邸。四季折々の草花が楽しめる、野草や野鳥も多い緑豊かな庭園で、今なお郊外邸宅の在り様を物語る屋敷地の面影を残しています。戸塚宿と藤沢宿の間にできた見どころになっています。



## 戸塚宿

TOTSUKA SHUKU

江戸を発った旅人が最初の宿泊地にした5番目の宿場



#### おすすめコース①

権太坂  
一里塚コース後編  
全長距離約5km

茶屋で出される焼餅が名物だった境木を過ぎると、それが名前の由来といわれる焼餅坂へ。その先に品濃一里塚があり、当時の鬱囲気を感じられるコースです。

P22おすすめコースから

境木地藏尊

焼餅坂

品濃一里塚

東戸塚駅

#### おすすめコース②

とつか  
宿内コース  
全長距離約1km

戸塚宿のジオラマが展示されている「交流広場とつか」を出発し、2つの本陣跡をはじめ、横浜市指定無形文化財「お札まき」の八坂神社、「冨塚」が戸塚の語源と言われる冨塚八幡など戸塚宿の見所を巡るコースです。

交流広場とつか

澤邊本陣跡 羽黒神社

八坂神社

冨塚八幡宮

上方見附跡

# 横浜の昔と今

葛飾北斎や初代歌川広重などによって描かれた東海道五十三次を題材とする浮世絵は、江戸時代後期における街道や宿場の情景と賑わいを今に伝えていきます。  
なかでも初代広重が最初に描いた東海道物である「東海道五拾三次之内」(版元が保永堂なので、「保永堂版」と通称される)のシリーズは、各宿場における名所・見どころのポイントを確定してしまう位の人気がありました。  
ここでは、その保永堂版に描かれた、横浜地域の三宿の情景を、現在のそれと比べてみましょう。



## COLUMN 横浜旧東海道 風景今昔物語

### 神奈川宿 台町の茶屋

MAP P18,B2

「台之景」と題されているように、神奈川宿の西端にある台町の風景が描かれています。「台」という名称の通り、東京湾に面した崖上に立地する台町は、対岸の房総半島南部まで見渡すことができ眺望を売り物として多くの茶屋が軒を連ねていました。眼下には帆を下して神奈川湊に停泊する廻船が描かれています。ちょうどその辺りが、現在の横浜駅周辺になります。東海道が東京湾と一体的に存在していたということになるでしょうか。現在ではそうした情景を見ることはできませんが、絵の通りの急な坂を登りつつ、この絵の情景をイメージしてはいかがでしょうか。



今



昔

### 保土ヶ谷宿 旧帷子橋跡

MAP P21,F2

題名の「新町橋」は「帷子橋」のことです。東海道に帷子川を渡るこの場所は、戦後に行われた帷子川の流路変更により、現在では陸地化されています。相鉄線天王町駅近くの公園となっています。絵の右下手前の東側から奥の西側へと帷子橋を渡ると、東海道は右側へと曲がっています。これは橋の長さを短くするように、帷子川の流れに対して直角に橋を架けたため、橋の両側で道筋が屈曲していることを示しています。この結果、絵の構図に面白みが生じています。実際に歩いてみると、ほぼ直線状に伸びている旧東海道の道筋が元の帷子橋の地点で曲がっていることに気づき、浮世絵の風景と重ね合わせることが出来ます。



今



昔

### 戸塚宿 大橋

MAP P24,C2

「元町別道」と題されていますが、描かれているのは現在の戸塚大橋とその東側に位置する茶屋「こめや」の風景です。この橋は、柏尾川を東海道が渡る地点になりますが、画面中央にある「左り、かまくら道」と記された道標からは、柏尾川に沿って鎌倉へと伸びる鎌倉道の分岐点であることが分かります。東海道の宿場が、東海道とそれ以外の道筋が集まる現在のタミナル駅のような存在であることをうかがうことができます。また、「こめや」の軒先に掲げられている何枚かの板は、「まねき」看板と呼ばれるもので、「大山講中」や「太々講」(伊勢参宮の講中)といった文字が記されており、さまざまな講中がこの店で一休みしていたこととなります。



今



昔

上段下 東海道五拾三次之内 神奈川台之景 (横浜市中心図書館所蔵) 中段下 東海道五拾三次之内 保土ヶ谷新町橋 (横浜市歴史博物館所蔵)  
下段下 東海道五拾三次之内 戸塚元町別道 (横浜市中心図書館所蔵)

## 副館長・齊藤さんの 横濱雑記

横浜開港資料館  
幕末・開港期から昭和初期までの横浜の歴史に関する資料を展示・公開しています。  
アクセス:みなとみらい線「日本大通り」駅 徒歩2分  
☎045-201-2100  
開館時間:9:30~17:00(入館は16:30まで)  
休館日:月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始ほか  
入館料:一般200円、小中学生100円 ※毎週土曜日は、小中高校生は無料。

## COLUMN 富士山と大山は、道中の道標

MAP P22,B2

東海道を徒歩で歩く旅人たちにとって、道中の進み具合の目当てになっていたのは、遠方からみても目立つ高い山であったようであり、江戸から横浜市域入りまでにおいては富士山と大山が目印とされていました。日本一の高さを誇る富士山は、独立した円錐状の山容から識別が容易であり、さまざまな東海道の浮世絵に描かれているように、東海道最大の名物でもありました。一方、大山は丹沢山地の南端に存在する位置関係と尖った山頂の形状から、こちらもまた遠方から容易に特定することができます。

どちらの山も、江戸における多数の富士講や大山講の存在からわかるように、東海道の出発地である江戸から見る事ができる、有名な山でした。そして、江戸から東海道を西へと進む中で、少しずつ目に映る富士山と大山の位置関係が変わっていき、旅人はその変化から道中の進み具合の見当をつけていました。高い建物もなかった江戸時代には、道中のさまざまな場所から望めたといえ、富士山や大山を遠望する地点としては、やはり一面を見下ろす

ような高所がもっともふさわしいでしょう。東京湾沿岸の平野部を通ってきた東海道の道筋が、再び相模湾沿岸の平野部に出るまでの間には、そうした場所がいくつか存在していました。横浜市域では武蔵国と相模国の国境にあたる境木や、戸塚宿西方の大坂を登り切った後の松並木あたりが、一息を入れながら山々を望む眺望ポイントでした。



富士山と大山

## 横浜旧東海道 歴史ガイドの達人たち



「ガイドまちあるき」のようす

市内の旧東海道沿いはもちろん、横浜の歴史をたどるガイドツアーを開催するボランティア団体です。年間を通じて様々なツアーを開催していますので、お気軽にお問い合わせください。

### 横浜旧東海道 ガイド団体の連絡先

- 横浜シティガイド協会 ☎045-228-7678 (☑HPあり)
- 鶴見みどころガイドの会 E-MAIL: tsurumimg@yahoo.co.jp (☑HPあり)
- 神奈川区いまむかしガイドの会 FAX:045-401-8320 (☑HPあり)
- ほどがやガイドボランティアの会 ☎045-371-3070 (HPあり)
- 戸塚見知楽会 ☎080-5545-4163 (HPなし)
- 戸塚歴史の会 ☎045-777-2812 (HPなし)

横浜旧東海道の詳細はこちら